

平成15年 簡易生命表のポイント

1 平成15年の平均寿命は男女とも最高を更新

平成15年の平均寿命[※]は、男が78.36年、女が85.33年で、前年を男は0.04年、女は0.10年上回った。

男女差は6.97年と、前年より0.06年拡大した。

※ 平成15年の平均寿命：平成15年の死亡状況で死亡していくとした場合、0歳の者が生きると期待される平均年数

男女別平均寿命とその差

	平成15年	平成14年	延び
男	78.36年	78.32年	0.04年
女	85.33年	85.23年	0.10年
男女差	6.97年	6.91年	0.06年

日本人の平均寿命と延びの推移

(単位：年)

暦年	平均寿命			延び(対前年)		
	男	女	男女差	男	女	男女差
平成元	75.91	81.77	5.86	0.37	0.47	0.10
*2	75.92	81.90	5.98	0.01	0.13	0.12
3	76.11	82.11	6.00	0.19	0.21	0.02
4	76.09	82.22	6.13	-0.02	0.11	0.13
5	76.25	82.51	6.26	0.16	0.29	0.13
6	76.57	82.98	6.41	0.32	0.47	0.15
*7	76.38	82.85	6.47	-0.19	-0.13	0.06
8	77.01	83.59	6.58	0.63	0.74	0.11
9	77.19	83.82	6.63	0.18	0.23	0.05
10	77.16	84.01	6.85	-0.03	0.19	0.22
11	77.10	83.99	6.89	-0.06	-0.02	0.04
*12	77.72	84.60	6.88	0.62	0.61	-0.01
13	78.07	84.93	6.86	0.35	0.33	-0.02
14	78.32	85.23	6.91	0.25	0.30	0.05
15	78.36	85.33	6.97	0.04	0.10	0.06

注：*印は完全生命表、その他は簡易生命表による。

2 寿命中位数は男81.35年、女88.09年

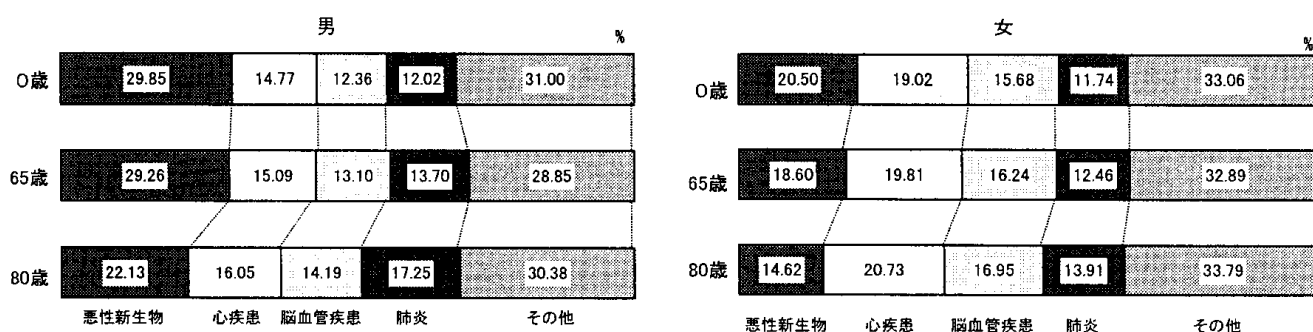
平成15年簡易生命表によると、生まれた者のうち半数が生存すると期待される年数（寿命中位数）は男では81.35年、女では88.09年となっている。

3 3大死因による死亡確率は、男女とも5割以上

平成15年における死因別死亡確率（将来どの死因で死亡するかを示す割合）は、0歳では男女とも悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎の順になっている。

また、0歳における3大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）による死亡確率は、男女とも5割以上（男57.0%、女55.2%）となっている。

死因別死亡確率（主要死因）

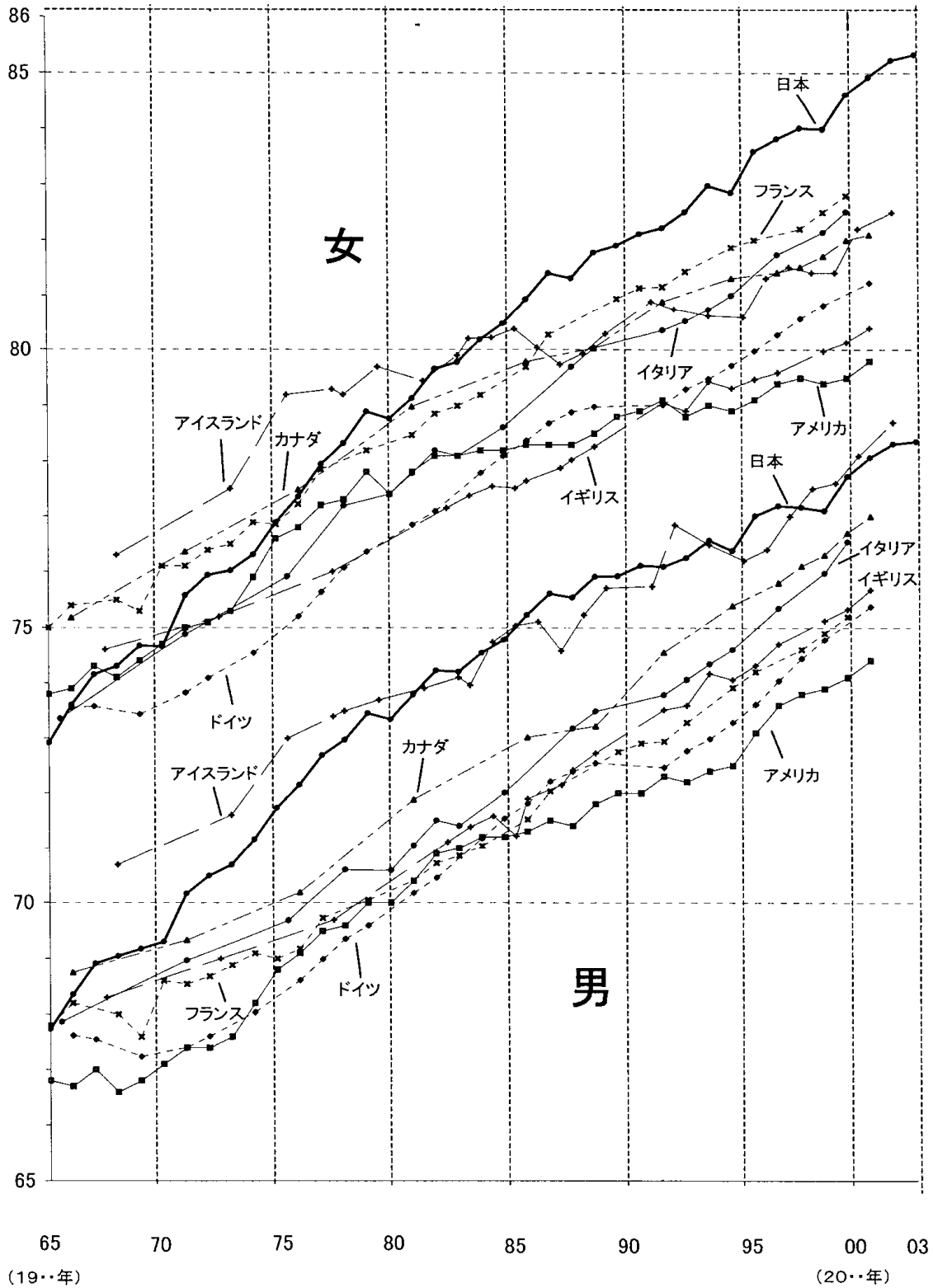


4 3大死因克服時の平均寿命の伸びは男8.71年、女7.90年

特定の死因が克服されたと仮定した場合の平均寿命の伸びは、0歳では男女とも悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順になっている。3大死因が克服されれば、平均寿命は男8.71年、女7.90年伸びて、男87.07年、女93.23年となる。

諸外国の平均寿命の年次推移

平均寿命(年)



資料 : U. N. Demographic Yearbook 等

注 : 1990年以前のドイツは、旧西ドイツの数値である。